



第3回 学校運営協議会

令和8年2月13日(金)

<第1部>

- 授業参観
- 今年度の取り組みについて
 - ・学校評価
 - ・保護者による学校評価
 - ・コンプライアンスの取り組み
 - ・各委員から

<第2部>

- 第2回学校運営協議会グループ協議の結果より
- 懇談

委員の皆様からの意見や感想、提案を共有し、学校と地域の「これから」を考えることができました



「地域と共にある学校」を目指して

第1部 - 授業参観や今年度の取り組みを受けて -

子どもの成長と学び

- ・生徒の自主的な活動が深められるようになった
- ・授業にユニバーサルデザインの視点を

地域企業との連携

- ・企業にとって人材育成につながっている
- ・これまで捨てていたものに「価値を生み出す」取り組みになった

コンプライアンス

- ・「気付いても言えない」ことへの対応
- ・組織として体制の整備と研修の積み重ねを

学校経営とICT

- ・校務へのAIの取り入れ方について情報交換をしていきたい
- ・対面(Face-to-Face)とデータでのやりとりの整理の大切さ

第2部

「夢をかたちに！」始めの一步へ

- 第2回学校運営協議会グループ協議の結果を受けて -

・生徒が市民センターで読み聞かせや、健康教室で体操をしてはどうか

・生徒がリヤカーなどで地域に野菜を売りに行ってはどうか

・特別支援学校が、だれでも気軽に来校できる場所になるとよい。(高齢者と小学生の交流の場など)

・地域の方は、協力をしたいが何をしたらよいか分からない 学校から情報発信をしてほしい

・幅広い世代に届くよう、ネット上だけでなく紙媒体での情報発信も必要

→回覧板やポスティングはどうか

・教職員の負担増にならないように削れるものは何かを考える必要がある

・この学校に入学して本当によかった卒業しても先生方と会える機会がほしい



・先入観にとらわれず、いろいろな発想で、さらに内原電機を活用してほしい

・内原ふれあいまつりに参加したことで、学校を認識した地域の人が増えた

・優先順位をつけて検討していくとよい



できることから、少しずつ。私たちのコミュニティ・スクール！